

## 第2回鏡野町総合教育会議 議事録（要点記録）

1 日 時 令和2年11月11日（水曜日）  
午前9時00分開会 午前10時25分閉会

2 会 場 中央公民館 第4会議室

3 出席者 町長 山崎 親男  
教育長 武本 吉正  
教育長職務代理 石原 昭和  
教育委員 佐古 庸二  
教育委員 小椋 潤二  
教育委員 宗川 万喜子  
教育委員 赤松 幸子

（事務局関係）

総合政策室長 瀬島 栄史  
学校教育課長 金平 美和子  
生涯学習課長 黒瀬 豊

4 協議事項 （1）小学校の教育環境（在り方）について  
（2）その他

5 会議の経過及び発言  
○開会  
○山崎町長あいさつ  
○武本教育長あいさつ  
○協議事項

発 言 者	発 言 の 要 旨
瀬島室長	<p>まず1点目に小学校の教育環境の在り方についてですが、6月の第1回目の総合教育会議を受けまして、学校教育課長と教育長に動いてもらいましたので、学校教育課長より説明をお願いします。</p>
金平課長	<p>10月14日、10月20日の2日間にかけて、香々美小学校、香北小学校、富小学校の保護者の方に現在の児童数、今後の児童数の見込みについて資料をお渡ししてお話をしてきました。徐々に児童数が減っていくことをお知らせしております。そうした中で、子ども達の望ましい教育環境について検討していきたいと思うので、保護者の方にも考えてもらうようにお伝えしました。香々美小学校の保護者の方からは特に質問はありませんでした。香北小学校と富小学校からは、統合する際に準備はどの程度かかるのか、どのようにすれば良いか等の質問が出ました。特に大きな質問や議論等はありませんでした。以上です。</p>
瀬島室長 教育長	<p>教育長から補足はありますか。</p> <p>やはり保護者と直接相對してどのような考えを持っているかを聞いてきた感じとしては、多くの方が統合に向けて真剣に受け止めて議論が必要だと考えてくれている保護者がいると感じました。今後の進め方については、町としてしっかりと問題について取り組むために、在り方の検討委員会の設置をして進めていきたいとお伝えして帰らせてもらっています。保護者とのやり取りの中で児童数の減少に伴って先生の配置の変化についても説明をさせていただきました。以上です。</p>
瀬島室長	<p>前回の会議の際に郷幼稚園についても触れましたが、町長から区長にお話ししてもらっていますので、町長からご報告をお願いします。</p>
町長	<p>区長幹事の方に直接伺いまして、行政のお気持ちを御伝えしました。今年度中は難しいということで、今年度中投げかけて令和4年度から統合していけるように進めたいと思います。</p>
瀬島室長 石原委員	<p>今の報告を受けまして委員の方から意見を伺いたいと思います。</p> <p>学校訪問をさせていただいて、以前と比べて児童数が少なくなってきたと思います。大野小学校は児童の数が増えてきて教室も密の状態になってきていると思いますので、早く小学校の在り方について検討した方が良いと思います。郷幼稚園については、令和4年度に廃止の方向で進めるということですか。</p>
町長	<p>今年でなければ来年度になると思います。保護者の方にもお示ししています。行政としての今までの取り組みですと、こども園の校舎の建替えの際に中央こども園と幼稚園を噛み合わせた運営ということになっています。子どもが少なくなっているあるいは、同じ小学校の学区内でありながら幼稚園がある、あるいは片方が少なくなっている現状についての理解はしたとのことでした。</p>

金平課長	郷幼稚園についてですが、地元の意見も大事ですが保護者の気持ちについても考えないといけないと思います。特別な支援が必要な子ども達もいます。職員が必要な人数についていることで、他の保育園なら手を焼く子ども達も比較的落ち着いて生活できて望ましい発達をしているとのことです。そういったところを配慮していくと、それを知りつつ郷幼稚園を希望している実態もあるそうです。
町長	現状と思いを述べただけで、在り方については当然、幼稚園の先生も芳野こども園に配置して、その環境での良し悪しでなく運営が可能か、環境がどうなのかの話ですので、他方では子ども達の現状のことを重く捉えれば残す必要も出てくると思いますので、そこについて総合教育会議で見出せたらと思います。我々が考えないといけないのは、年長の次の小学校に行くことを念頭に置いて考えないといけません。今の環境が良いのであれば、そういった環境を小学校で探すのは難しいと思いますし小学校の課題でもあります。特別な支援を必要とする子どもであれば、そういった環境が整った場所が一番だと思います。
金平課長	他の子どもからの刺激を受けて成長することもあるので、一概に決めきれない部分もあって保護者と検討を重ねながら進学先を決めていくことになると思いますが、子どもというのは1年、1年、発達の大変な時期を過ごしながら小学校に進学します。3歳児から5歳児の間で、適切な環境で身に着けて小学校進ませる必要があると思います。来年度から南小学校に入学するから芳野こども園に入園すればいい、と決めつけないように慎重な判断が必要になると思います。
町長	いずれこうなると分かっている場合には、ある程度の人数のいる園舎で子ども達を関わらせるのは大事だと思います。その場面で終われば良いですが、次の場面に年と共に上がっていきますので考えないといけません。
石原委員	以前の町立保育園・幼稚園在り方検討委員会からの報告を受けたと思いますが、幼稚園の今後について教えて下さい。
金平課長	郷幼稚園は芳野こども園に統合するのが将来的に望ましいとの結果が出ています。
石原委員	そうした場合ある程度沿っていくことが必要になると思います。課長が心配されているのは支援が必要な子どもの保護者の思いがどうなのかを懸念されていると思います。中央こども園なら保育園部、幼稚園部がありますから、通われている保護者の思いと保育士、教員等の手立ては別だと思えますけど、そういった部分も拡充して受け皿を作る必要があると思います。最初に言われた郷に通われている子どもの保護者の思いを再度確認することは必要だと思います。今年度か、来年度に移行するにしても早めに思いの確認することが必要だと思います。
町長	郷の幼稚園の生い立ちは小学校と幼稚園が一緒にあったものを単独で幼

	<p>稚園だけ残して、小学校の統合は避けられないということで南小学校と統合して幼稚園だけは残りました。区長幹事には話をしていますが、区長幹事ではなく郷幼稚園は全町から来られていると思いますので、通われている子どもの親御さんの思いは大事だと思います。性急にしないといけないのか、余裕がある話なのか意見を伺った中で判断をしていきたいと思いません。障害を持つ子ども、あるいは障害を持つ子どもを芳野こども園で対応が可能かどうか。</p>
金平課長	<p>芳野こども園、中央こども園にしても支援の必要な子どもは通われていますので、受け入れができないということはありません。行政判断として郷幼稚園は閉園することを突き付けるのも一つ的手段ですが、保護者の思いを聞くのならば、保護者は残すように言われると思います。保護者の思いを尊重するのか、行政判断を通すのか、どちらかに重きを置いて動いていくかになると思います。行政判断として閉園する方向を強く押し出すなら、保護者の方にご理解していただく必要があると思います。</p>
町長	<p>基本的には在り方も存在意義なので、そういった方向で進めてきた以上はそのやり方を踏襲していくしかありません。その判断をする材料として、保護者の意見を聞きながら、受け入れ先である中央こども園、芳野こども園の園長の意見を伺ってその前提で話を進めてはと思います。</p>
宗川委員	<p>子ども達の成長に合った環境を用意して欲しいのと、園に余裕を持った設備、人員が必要だと思います。</p>
町長	<p>保護者の意見はこの中には反映されていません。ただ、子どもが卒業して誰も居なくなっただけからどうするのかについて、後にまた出てきた際にも入る所が無いですから必然的に子どもを新しいこども園で受け入れられるかも大事ですので保護者の意見を聞いてみましょう。</p>
赤松委員	<p>非常に難しい判断を必要とする内容で、親御さんや子どもさんの立場に立ったらあった方が良いでしょうし、ですがその人数が0になって、行政の財政の問題もあると思いますけど、保育士が芳野こども園に移って人数が増えて財政をうまく生かしてカバーできる状況もあるかもしれません。郷幼稚園だからうまくいっている子どもの対応は必要だろうと思います。方向性についてはいつか統合することについては、親御さんの気持ちを聞いていく必要があると思います。</p>
石原委員	<p>方向として廃止する際に心配な部分などは保護者さんとの話を先にすることをせず、我々の方で勝手に判断するのは駄目かなと思います。</p>
町長	<p>経営としては一つにして保育士もそちらに移動してもらい保育に当たってもらうのが良い環境だとは思いますが。今後の幼稚園の件については区長幹事の方に投げかけております。保護者の方にも意見を聞いてから判断をしてお諮りしたいと思います。</p>
金平課長	<p>保護者方の思いとして、入園の申込みを受けております。入園の希望が</p>

小椋委員	<p>整った時点で来年の入園者予定者が分かってくると思いますのでそちらの保護者に聞いて見たいと思います。</p> <p>個人的には残した方が良くと思います。人数が少なくなったので、中学校と小学校も統合するような話がありました。人数が少なくなったから閉めるのではなくて、小さい頃には入る選択肢が多い方が良くと思います。学校訪問に行った際に郷幼稚園が良いから通っている人数よりもその場所を希望する地元の方がいるなら残した方が良くと思います。</p>
瀬島室長	<p>ご意見いただきありがとうございます。先程の教育長の話にもありました学校の在り方検討委員会について議論していきたいと思います。教育課長よろしくお願ひします。</p>
金平課長	<p>学校の在り方検討委員会については、次の教育委員会でお諮りして要綱については訂正していきたいと思っております。その参考にしたのが保育園・幼稚園在り方検討委員会設置要綱です。内容としては「将来の児童数を見据え、地域に相応しい小学校の在り方を検討し、総合的な方向性を示すため」ということで、設置目的を定めております。所掌事項しまして、「小学校の規模や背景に関すること、小学校の施設整備に関すること、その他小学校の在り方に関すること」となっております。組織としましては小学校のPTA会と保育園・こども園の保護者会代表、学校長、民生児童委員会学識経験者です。保育園・幼稚園在り方検討委員会設置要綱の行政関係者については保健福祉課長、学校教育課長になりますが、これについてははなくてもいいと思います。その代わりに委員長が必要と認めた時には呼べるようにしておけばと思います。第1条から第3条を見てもらってから実際の構成メンバーについてもご意見をお願いします。人数も15人以内ということで、大人数いても議論にならないこともあるので、なるべく絞りたいと考えております。ただし、関係する学校の保護者には実際に足を運んで検討委員会として意見を聞く必要があると思います。</p>
瀬島室長	<p>課長から説明がありましたが、保育園・幼稚園の在り方検討委員会についてですが、検討がなされたのが平成21年10月から平成22年5月までの半年間設置されておりました。その間に9回の会議を開催しており最後に答申しております。</p>
町長	<p>先程の小学校在り方検討委員会、保育園幼稚園在り方検討委員会の違いあるいは委員の構成、行政関係者の部分で言われましたが、どうしても委員は行政関係者に意見を求めることが多々あると思います。積極的に意見を言う立場ではなくてオブザーバーとして加えるのが適当だと思います。</p>
金平課長	<p>私は事務局側で話を聞くのが相応しいと思いますがどうでしょうか。</p>
町長	<p>事務局というよりは、オブザーバーとして会議に出席して意見に答える立場で必要だと思います。</p>
金平課長	<p>実際の現場には教育長と私も必要な質問には回答しながら進めていくこ</p>

	<p>とになると思います。</p> <p>事務局で説明役として説明する部分もあるでしょうし、行政関係者として所管しているところの職員というのはおかしいのかなと思います。</p>
石原委員	
町長	<p>行政として施設を運営管理することと、それを利用される方々の思いは違うところにあると思います。鏡野町としてはそれが一緒になるように努力していますが、努力しても新入生がいない、あるいは学校統合後の保護者の考えを聞く機会もあります。友達が増えて学校に行くのが楽しくなっている現実もあります。子ども達が良い環境で目的を達成できるのが課題だと思います。現在小学校の児童数も学校によってバラバラの状態ですので、改善のためにも学校の在り方検討委員会が必要だろうと思います。</p>
金平課長	<p>在り方検討委員会の設置が必要だと町長からお答えをいただきました。検討するメンバーについても町長からご意見はありますか。</p>
町長	<p>持ち合わせておりません。</p>
金平課長	<p>小学校のPTA代表者、保育園、こども園代表者、学校長については事務局の方で考えながら進めていきたいと思っています。</p>
瀬島室長	<p>立ち上げいつ頃の目途ですか。</p>
金平課長	<p>今月の教育委員会が25日なのでそこで承認した後に、告示をして招集をかけたいと思います。12月中には集まりたいと思いますが教育長どうでしょうか。</p>
教育長	<p>今年中には立ち上げができるようにしたいと思っておりますがどうですか。</p>
金平課長	<p>まずは、保育園、幼稚園にしても美作大学の方からご意見をいただいて、メンバーや進め方についてもアドバイスをいただいて進めた方が良いと思っております。</p>
町長	<p>準備委員会も必要になると思います。準備委員会で第1回の開催日やメンバーを決めるために必要だと思います。</p>
瀬島室長	<p>準備委員会で諮問の内容を準備するためにするということですね。</p>
教育長	<p>分かりました。そういった目標で進めたいと思います。</p>
石原委員	<p>12月に会議は厳しいと思いますので、ある程度要綱設定してメンバー選定してその中で委員長、副委員長候補を事前に了解を得る必要もあるので、その辺りの了解を得られたら検討して欲しいものを細やかに進めていけるようお願いするのがいいと思います。</p>
瀬島室長	<p>諮問答申形式をとりますと、諮問内容について事前に事務局と委員候補の方で準備委員会を立ち上げて話をさせていただくのが良いと思います。</p>
金平課長	<p>委員会が動き出したらなるべく広くの意見を聞いて一番いい方法を見つけられたらと思います。</p>
瀬島室長	<p>在り方検討委員会につきましては、11月25日の教育委員会で要綱をお諮りして年内に準備を進めて、各団体にも声掛けをして進めていこうと</p>

金平課長	<p>思います。何か他に在り方検討委員会についてご意見はありますか。</p> <p>富保育園の来年の入園者が1名になると思います。1名の方も家族会議の結果1名でも通わせたいとのことで開かざるを得ないと思います。先日、教育支援委員会がありありまして、来年度の特別支援学級や誕生寺養護学校を利用する方一人一人の状況について支援委員会の方々と諮って決めたところでした。来年度、支援を必要とする児童数の数は今年度より増えると思います。教室を増やさないといけないと可能性があります。同じ障害の中でも程度も様々なので、町長から特別支援員をつけてもらっていますが、その辺りについて予算要求をさせていただくのでよろしくお願いいたします。</p>
町長	<p>先ほども言いましたが、行政と家庭が近づくのが大事で、どうやって親御さん気持ちあるいは子どもさんが同世代と学校生活ができるようになるには、支持する方がいるのが大前提になります。その方を最低限つけるのが絶対です。鏡野町はそうした努力はしているとの声も現場からも聞いておりますので、その姿勢を崩さないためには何かしらの理解を町民に求める必要があると思います。結果的に鏡野町の教育は良いと言われるような形の中で、鏡野に在住あるいは鏡野で教育を受けさせたい親御さんが増えるのが狙いになると思います。単に思いをなすためにするのではなく、子ども達のために私たちが何をできるかに尽きると思います。</p>
瀬島室長	<p>委員の皆様方からその他議題がありますか。</p>
石原委員	<p>6月の総合教育会議でも生涯学習課の所管分の各施設の改修計画があるなかで、かなりの数があり経年経過しているものもありますので、しっかり改修してもらいたいです。</p>
町長	<p>学校のトイレの洋式化も課題でありますので、早急に改善できるようにしていきたいです。</p>
石原委員	<p>教育関係は学校教育施設と社会教育関係と多く担当していますので、古い社会教育施設等もあると思いますのでお願いしたいと思います。</p>
黒瀬課長	<p>古い公民館等は改修を考えております。文化スポーツセンター等も改修をしますし、やはり細かい修繕ではなく大改修をしなければいけないと思いますので、計画を立てまして予算要求をしていきたいと思います。</p>
町長	<p>鶴喜小学校も大規模改修ということで、建てる前の課題に直面しています。</p>
宗川委員	<p>支援の仕方を知っている先生方がついてくれると子ども達も伸びるので増やしていただければと思います。</p>
教育長	<p>現場の先生方も頑張ってくださいしていますが、まだ足りないのご意見もいただいております。人間的な配慮もしてもらっていますが、そこへの質を高める努力は惜しんではいけないと思います。限られた人員、時間でやりくりを進める上で調整は必要だと思いますので、ご意見をいただいた</p>

瀬島室長

中でその辺りを現場でできる形に調整していきたいと思います。  
それでは他に意見もないようですので、第2回の総合教育会議を終わりたいと思います。